

環境調査結果のお知らせ

平成24年1月13日午前11時半から野見湾・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温16～17℃、塩分33台、溶存酸素濃度7～8mg/lでした。
透明度は6～10mで、ミリオネクタ・ルブラがやや多く確認されました。

水温と塩分(表1・2)

湾内の水温15.99～17.61℃、塩分は33.25～33.83でした。前回調査時(H23.12.19)と比べて、水温は1℃低下、塩分は0.5上昇していました。

溶存酸素濃度(表3)

湾内の溶存酸素濃度は7.04～8.63mg/lで、前回調査時より0.5～1mg/l上昇していました。

プランクトン(表4・5)

透明度は前回より上昇し、6.0～10.0mでした。検鏡の結果、先月、野見湾で赤潮状態になっていたミリオネクタ・ルブラがやや多くみられました。本種は、魚類に対しては基本的に無害ですが、増殖すると二枚貝類が赤変化する可能性があるので注意が必要です。その他、魚類に対して有害な種は確認されませんでした。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルに海水を汲む等して、中央漁業指導所か水産試験場まで連絡してください。

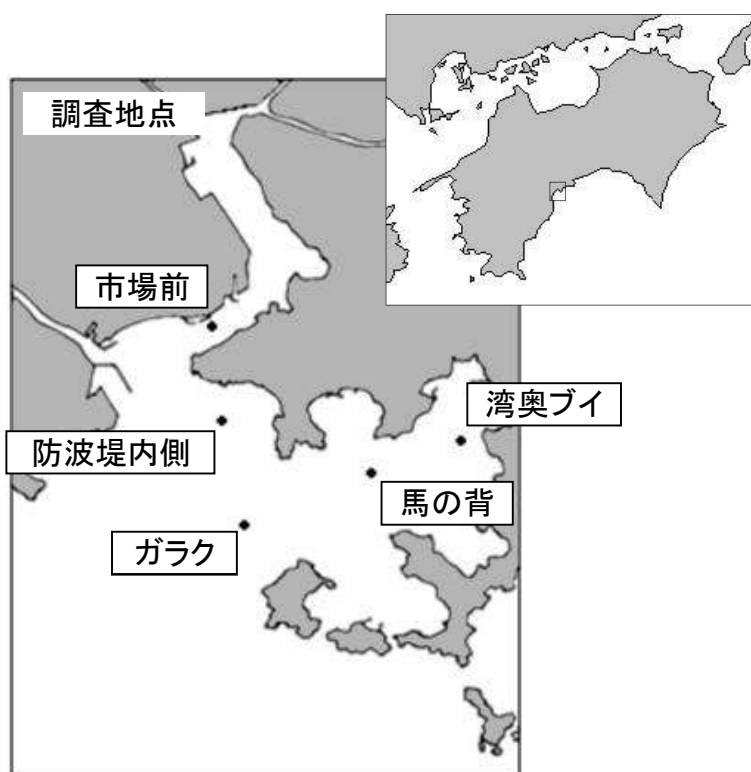


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H23.12.19)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	16.90	17.04	17.61	16.12	17.18	17.94	▲ 0.75	15.21
2m	16.90	17.05	17.61	16.20	17.19	17.93	▲ 0.75	15.32
5m	16.80	17.05	17.37	16.30	17.07	17.92	▲ 0.85	15.44
10m	16.64	17.04	17.27	16.06	16.98	17.91	▲ 0.93	15.86
B-1m	16.33	16.47	17.03	15.99	16.61	17.83	▲ 1.22	15.98

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H23.12.19)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	33.75	33.74	33.83	33.25	33.77	33.33	0.44	33.04
2m	33.77	33.75	33.82	33.35	33.78	33.34	0.44	33.13
5m	33.78	33.78	33.79	33.47	33.78	33.33	0.45	33.23
10m	33.78	33.82	33.80	33.49	33.80	33.33	0.47	33.40
B-1m	33.76	33.78	33.77	33.51	33.77	33.34	0.43	33.45

表3 溶存酸素濃度(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H23.12.19)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	8.08	8.09	7.90	8.63	8.02	7.26	0.77	8.70
2m	7.93	7.98	7.78	8.53	7.90	7.10	0.79	8.58
5m	7.77	7.80	7.48	8.45	7.68	7.00	0.68	8.49
10m	7.54	7.61	7.06	8.35	7.40	6.92	0.48	8.30
B-1m	7.38	7.29	7.04	8.24	7.24	6.67	0.57	8.21

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	17.1	24.5	16.0	17.8	14.5
透明度	7.0	9.5	10.0	6.0	4.0
前回透明度	5.5	7.0	7.4	7.0	3.0

表5 プラクトン(cells/ml)

		ミリオネクター ルブラ	ジャイロディニウム属 (ドミナンス、 スピラレ)	ケイ藻類 (混合)
湾奥ブイ	0m	47	8	51
	2m	58	6	28
	5m	2	1	13
馬の背	0m	22	3	4
	2m	38	2	54
	5m	18	3	61
ガラク	0m	4	2	13
	2m	12	1	5
	5m	2	1	36
津波防波堤 内側	0m	101	4	109
	2m	139	2	38
	5m	68	0	83
市場前	0m	0	1	293
	2m	0	0	92
	5m	0	0	87